

曹洞宗総合研究センター 第26回学術大会 プログラム

開催日 令和6年10月29日(火)～30日(水)

会場 曹洞宗檀信徒会館(東京グランドホテル)

第1部会 3階 桜の間

第2部会 3階 菊の間(1日目)

蘭の間(2日目)

大会日程

1. 開会式	10月29日	9時30分	桜の間
2. 近現代教団研究部門公開講演会	10月29日	10時	桜の間
3. 教化研修部門公開講演会	10月29日	13時	桜の間
4. 個人研究発表	10月29日	15時40分	第1部会 桜の間
		13時	第2部会 菊の間
5. 宗学研究部門リレー発表	10月30日	9時	第1部会 桜の間
		9時	第2部会 蘭の間
	10月30日	10時40分	桜の間

<第1日> 10月29日

第1部会 <桜の間>

午前の部(10時～12時)

近現代教団研究部門公開研究会

僧堂教育の現在と未来

講演

僧堂修行について思うこと

臨済宗円覚寺派管長・花園大学総長 横田南嶺 猊下

発表

僧堂教育の理念に関する私見

センター常任研究員 新井一光

<第1日> 10月29日

第1部会<桜の間>

午後の部 (13時～15時30分)

教化研修部門公開研究会

瑩山禅師と衆生済度

—布教教化の未来を構想する—

基調提題

大慈悲心の誓願に学ぶ —今、人々と共にどう生きるか、自らに問う—

神奈川県最乗寺住職 増田友厚

発表

- | | | |
|------------------------------|-----------------|------|
| 1. 禅の里活性化への取り組みと現代布教 | 大本山總持寺祖院副監院 | 高島弘成 |
| 2. クラウドファンディングを活用した現代布教 | 福島県安洞院住職・センター講師 | 横山俊顕 |
| 3. 来年から始める、町内向けのちょっと大きな花まつり | 神奈川県陽光院住職 | 西山修浩 |
| 4. 「法を伝えるということ」における現代的課題について | 教化研修部門主任 | 関水博道 |

コメンテーター

埼玉県正覚寺住職・センター講師 中野尚之

第1部会<桜の間>個人発表

午後の部 (15時40分～17時20分)

1. 雙林寺開山月江正文ゆかりの寺院について —群馬県天台宗寺院の碑文から—
曹洞宗文化財調査委員会主事 伊藤良久
2. 瑩山禅師が曹洞宗に果たした功績
駒澤大学講師 横山龍顯
3. 近代ハワイ仏教の一側面 —曹洞宗を中心として—
駒澤大学教授 石井清純
4. 入明僧無初徳始考 —信州諏訪大社から嵩山少林寺・北京潭柘寺へ—
駒澤大学名誉教授 佐藤秀孝
5. 「有時卷」解釈の一視点
センター所長 志部憲一

<第1日> 10月29日

第2部会<菊の間>個人発表

午後の部 (13時~17時)

1. 『永平高祖十二時願文』について
駒澤大学准教授 舘隆志
2. 道元禅師と儀礼 (二)
宗学研究部門研究員 永井賢隆
3. 道一如月撰『宗門室内之書』について
駒澤大学大学院 務臺宗孝
4. 中国天台における禅観の実修について
愛知学院大学准教授 大松久規
5. 七条仏師と宝慶寺
永平寺学術事業推進室主任調査研究員 長谷川幸一
6. 能登国總持寺輪住内書・請状の成立
駒澤大学非常勤講師 遠藤廣昭
7. 大教院制度下における曹洞宗の対応
センター委託研究員 佐藤俊晃
8. 社会的資源としての「故人」—存在しないことの意義について—
長岡寺住職 酒井晃洋
9. 僧侶・檀家・非檀家における死生観に関する一考察
龍泉寺住職 柿沼和秀
10. 臨済宗妙心寺派東京禅センターの活動と今後の展開
臨済宗妙心寺派東京禅センター主任 並木泰淳
11. 保育者や保護者に学んでほしい「仏教保育」
育英短期大学名誉教授 佐藤達全

<第2日> 10月30日

第1部会<桜の間>個人発表

午前の部 (9時~12時40分)

1. 近代曹洞宗教団における「差別即平等」を考える —明治・大正期の二つの講演会記録から—
近現代教団研究部門主任 宮地清彦
2. 太祖瑩山紹瑾禅師撰述の『伝光録』にみる出家の解釈 (二)
駒澤大学大学院修了 下條正
3. 連山交易による文献編纂について
駒澤大学大学院 中野智教
4. 面山瑞方『建康普説』における大慧批判 —九「黙照普説」の説示を中心に—
センター委託研究員 久松彰彦
5. 損翁宗益和尚撰述『坐禅箴辨話』について
センター専門研究員 清藤久嗣

宗学研究部門リレー発表 (10時40分~12時)

「宗典資料の蒐集調査及び保存」に基づく研究及び今後の課題

6. 寒巖義尹の伝記資料の成立過程について —大慈寺本『寒巖尹和尚本伝』を中心として—
宗学研究部門副主任 秋津秀彰
7. 「曹洞宗宗歌」の成立について
宗学研究部門研究員 山内弾正
8. 『出家略作法』の諸本について
宗学研究部門研究員 秦慧洲
9. 『禅門拈頌集』考
宗学研究部門主任 小早川浩大
10. 瑞世考(三) —總持寺蔵『住山記』と總持寺祖院蔵『道正庵着帳写』—
センター講師 尾崎正善
11. 面山瑞芳と永平寺 —一切紙の評価を中心にして—
駒澤大学禅研究所研究員 飯塚大展

<第2日> 10月30日

第2部会 <蘭の間>個人発表

午前の部 (9時~13時)

1. 禅社員研修における参加者の感想と評価

センター常任研究員 宇野全智

2. 「人権・平和・環境」の解釈史 —『修証義』と四摂法に着目して—

教化研修部門研修生 久峯俊太

3. 仏教の修行法としての坐禅実践 —「正しい坐相」についての考察—

教化研修部門研修生 渡部妙香

4. 坐禅に対する一般的なイメージについて

教化研修部門研究生 吉田徹英

5. 禅とミニマリズム (2)

教化研修部門研究生 軽部真生

6. 多様性を考える2 —北アメリカの禅センターにおける生活規範から—

教化研修部門副主任 南原一貴

7. 鈴木俊隆の『参同契』解釈について —「霊源」と「支派」を中心に—

駒澤大学大学院 千葉聡

8. 自死遺族との対話 —喪失から心理的回復に関する一考察—

未来創生研究部門主任 久保田永俊

9. 曹洞宗寺院の世襲について

女性と仏教・関東ネットワーク 瀬野美佐

10. 「宗門の本尊論」の系譜 —講述主と継承者—

センター嘱託員 工藤英勝

11. 曹洞宗のカルト認識と協力聖職者問題

龍潭寺住職 別府良孝

12. 道元禅師の草冠について

佐保会書道部講師 角紀子

※プログラムは変更になる場合があります。